

別紙2

評価項目及び配点表

評価項目		評価基準（内訳）	一次評価	傾斜	最終評価
Ⅰ．提案企業の評価		導入目的達成のため、信頼できるパートナーとなりうるか。	8.0		12.0
1 提案事業者の活動		・協力事業者も含めて業務を受注するのに、十分な規模を持つ事業者であるか。 ・環境活動や社会貢献活動等の地方公共団体のパートナーとしてふさわしい活動を行っている事業者であるか。	4.0	1.0	4.0
2 業務実績		・協力事業者も含めて備品納入や類似施設の整備について十分な実績を有しているか。	4.0	2.0	8.0
Ⅱ．導入目的達成度の評価		業務の効率化、市民サービス向上等の導入目的を達成することができるか。	8.0		6.0
1 基本方針		・導入目的や問題点及び課題が正しく認識されているか。	4.0	0.5	2.0
2 提案の特徴と構成		・導入目的を達成できる提案になっているか。 ・仕様書を基に業務の範囲が正しく認識されており、過小提案、過剰提案になっていないか。	4.0	1.0	4.0
Ⅲ．構築体制の評価		安心して業務を任せられるだけの体制が構築されているか。	16.0		18.0
1 構築体制		・十分な構築体制が整っているか。 ・協力事業者との作業分担が適切であるか。	4.0	1.0	4.0
2 成果物について		・成果物について必要なものが網羅されているか。 ・成果物について十分な品質管理を行うことができるか。	4.0	1.0	4.0
3 導入スケジュール		・期日までに、十分な事前説明等も終え、運用開始が迎えられる計画になっているか。	4.0	2.0	8.0
4 関係各課等の意見反映		・優先交渉者になった後、関係各課等への意見聴取の上、提案の修正が可能であるか。	4.0	0.5	2.0
Ⅳ．提案の拡張性等の評価		長期にわたって利用可能な提案となっているか。	8.0		30.0
1 空間利用の柔軟性		・レイアウト変更や用途変更に対応できる物理的な設計となっているか	4.0	4.0	16.0
2 社会環境変化への対応		・働き方改革やデジタル化の進展など、社会的変化に対応できる提案となっているか	4.0	3.5	14.0
Ⅴ．提案の機能の評価		提案は要求内容を満たしているか	28.0		64.0
1 サイン機能		・サインは視認性に優れ、見やすいものとなっているか ・来訪者が目的の場所に迷わず辿り着ける工夫があるか ・ユニバーサルデザインに配慮したサインとなっているか	4.0	3.0	12.0
2 備品		・フレキシブルに利用できる可動式の机・椅子・仕切り板等の提案となっているか ・サインやレイアウトとの統一感があるか ・売店備品は、既存店舗の同等以上の機能を確保した提案となっているか	4.0	3.0	12.0
3 空間デザイン		・プライバシーやセキュリティを確保し、快適性が確保された提案となっているか ・誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの考え方に沿った提案となっているか ・平成30年度に実施したレイアウト改修のコンセプトと調和が取れているか	4.0	3.0	12.0
4 デジタル環境		・Wi-Fi環境やLGMAN回線等の通信速度は適切か ・デジタル技術を活用した情報共有やプレゼンテーションができる設備の提案は適切か	4.0	1.5	6.0
5 全体レイアウト		・利用者の動線を考慮したレイアウトとなっているか ・スペースを最大限活用した提案となっているか ・庁舎の特性を活かした提案となっているか	4.0	3.0	12.0
6 各スペースの機能性		・官民共創スペース、売店エリア、エントランス・カフェスペース、会議室等の機能性は適切か ・多用途に対応できる提案となっているか ・適切な照度が確保されているか	4.0	2.0	8.0
7 設備工事		・トイレ、電気、給排水、空調、LAN工事等の提案は適切か ・本市のOA環境を理解した提案となっているか	4.0	0.5	2.0
Ⅵ．全般的な事項に関する提案について			4.0		18.0
1 全般的な事項に関する提案について		・プラスアルファで独自の提案があるか。 ・提案依頼の内容以外で運用改善等の提案があるか。	4.0	4.5	18.0
Ⅶ．熱意・意気込み、コミュニケーション能力			4.0		12.0
1 プレゼンの精度、誠意、意気込み、コミュニケーション能力		・技術提案書、プレゼンテーション等は内容が正確で詳細かつ実現性の高い計画となっているか。 ・制約事項等について遺漏無く説明がなされているか。 ・適切なコミュニケーションを取ることができているか。 ・質問に適切に答えられているか。	4.0	3.0	12.0
提案内容 合計			76.0		160.0
Ⅷ．価格点			8.0		40.0
1 価格の妥当性		・見積価格が提案内容に対して妥当であるか。 ・今後保守に係る見積が妥当な内容であるか。	4.0	1.5	6.0
2 提案価格	総額	見積価格から算出	4.0	8.5	34.0
価格点 合計			8.0	－	40.0
総 合（提案内容＋価格点）			84.0	150.0	200.0